

# 音楽教育専修

初等教育履修分野 / 中等教育履修分野

◆ 学びのポイント

## 1 幅広く音楽実技を学べる

声楽、ピアノ、管楽器、和楽器などの演奏技術、合唱、伴奏などのアンサンブル技術、指揮法、創作技術など、自らの音楽表現の能力を高めるため、いろいろな実技を学ぶとともに、子どもたちの音楽表現活動の指導法について学びます。



## 2 音楽を教えるためのすぐれた方法を学べる

子どもたちに音楽の時間を楽しく過ごしてもらい、さらに音楽の美的、知的な世界に導くため、そのための理論と教育実践の方法について学びます。

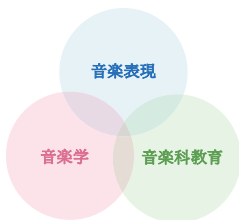
## 3 音楽や音楽と社会との関係についての理論を学べる

音楽を学ぶために必要な一般的・専門的な理論、さらに音楽心理学・音楽療法などから音楽と人間関係を学びます。

◆ 学びの領域

## 実技と理論の両方をしっかりと身につけた教員になるための3つの学び

音楽表現・音楽学・音楽科教育についての理論や技術をバランス良く学びます。



音楽を通して子どもたちを成長させるため、豊かな感性、実技、理論、教育実践力を持った教師を育てます。

### 音楽教育専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限	中等教科教育法Ⅲ (音楽)				
3・4時限	管楽器Ⅰ <木管>			教育実習・事前指導	作曲・編曲理論
5・6時限	演奏法Ⅱ (器楽)	音楽心理学		日本音楽史	生徒指導・教育相談Ⅱ
7・8時限		演奏法Ⅰ (声楽)		合奏Ⅰ	伴奏法
9・10時限	日本音楽実習Ⅰ	合唱Ⅲ			



#### 日本音楽実習Ⅰ

長唄三味線演奏を通して日本音楽について学びます。



#### 演奏法Ⅰ (声楽)

声楽の演奏技術、表現方法を学びます。



#### 演奏法Ⅱ (器楽)

ピアノの演奏技術、表現方法を学びます。



#### 合奏Ⅰ

リコーダーや教育楽器のアンサンブルによって合奏の面白さを学びます。

### Student's Voice 在学生の声

「各校種で音楽を指導するための知識や技術を養う」

音楽教育専修4回生  
**夏見 愛永さん**  
 (東大谷高等学校出身)



音楽教育専修では、実技と理論を幅広く学ぶことができます。

ピアノや声楽のレッスンはじめ、音楽理論やソルフェージュ、作曲編曲法、音楽学、音楽心理学、伴奏法、音楽史などの授業を通して、各校種で音楽を指導するための知識や技術を養います。

合奏や指揮法では、自分自身も演奏することによって、現場でも活用できる力を身につけます。

一人一人を丁寧に指導して下さる先生方や、共に高め合える仲間がいる環境は、少人数ならではの魅力です。

また、音楽教育専修全体で主催する年に4回の演奏会やオペラなどの行事を通して、学年を超えた繋がりをもつことができます。

#### 主な開講科目

声楽Ⅰ / 音楽理論 / ピアノⅠ / ソルフェージュⅡ / 管楽器Ⅰ / 指揮法Ⅱ / 日本音楽実習Ⅰ / 作曲・編曲理論 / オペラⅡ / 演奏実習Ⅰ / 伴奏法 / 合唱Ⅰ / 中等教科教育法Ⅰ～Ⅳ (音楽)

#### 取得できる免許状

- ・[初等教育履修分野] 小学校教諭一種 等
- ・[中等教育履修分野] 中学校教諭一種 (音楽) 等 (P.8,9「取得できる免許状・資格」のページ参照)

#### 卒業後の主な進路

毎年、卒業生の8～9割が小学校教諭に採用されています(期限付き講師などを含む)。学級担任や音楽専科として、毎日子どもたちに囲まれて、元気に活躍中です。その他に、中学校教諭、企業に就職、大学院に進学する人もいます。

#### 教員および専門分野 (平成29年5月1日現在)

- ・福井 一教授 / 音楽学・音楽生理学  
音楽が人間の心や身体に及ぼす影響の科学的研究
- ・福田 清美教授 / 声楽  
声楽(独唱～合唱)の発声法と演奏法を様々な声に対応し研究
- ・前田 則子教授 / 器楽  
ピアノ演奏法、伴奏法、及びピアノ教育、ソルフェージュ教育の研究
- ・北條 美香代准教授 / 作曲  
作曲法、編曲法、管弦楽法、及び創作指導法研究
- ・劉 麟玉准教授 / 音楽科教育  
音楽科教育法、音楽教育史、民族音楽学、音楽社会学についての研究
- ・水野 亜歴特任講師 / 声楽  
声楽(オペラ、独唱・重唱、合唱)における発声法と表現方法及び指導法の研究